

第92回東京都港湾審議会資料

(案)

# 東京港港湾計画資料

— 軽易な変更 —

平成 29 年 5 月

東京港港湾管理者  
東京都







## 目 次

1. 変更理由 .....	1
2. 施設計画に関する資料 .....	2
2.1 旅客船埠頭計画.....	3
2.2 水域施設計画.....	4
3. 港湾環境整備施設計画に関する資料 .....	5
3.1 緑地の現況と計画.....	5
4. 土地利用計画に関する資料 .....	7
4.1 土地利用計画.....	7
5. その他重要事項 .....	9
5.1 大規模地震対策施設計画.....	9
5.2 港湾施設の利用.....	13
6. 環境保全に関する資料 .....	14
6.1 環境影響の評価.....	14
6.2 大気環境（大気質）への影響予測と評価.....	15
6.3 その他の項目への影響予測と評価.....	22
6.4 総合評価 .....	22
7. その他資料 .....	23
7.1 新旧法線対象図.....	23
8. 東京都港湾審議会委員名簿 .....	24



## 1. 変更理由

- ・ 船舶の大型化に対応するため、内港地区及び中部地区の旅客船埠頭計画並びに中部地区の水域施設計画及び土地利用計画を変更する。
- ・ 豊洲・晴海開発整備計画の一部改定に伴い、内港地区の港湾環境整備施設計画、土地利用計画及び物資補給等のための施設を変更する。
- ・ 大規模地震発生時における緊急物資輸送等に対応するため、内港地区の大規模地震対策施設を変更する。

## 2. 施設計画に関する資料

船舶の大型化及び豊洲・晴海開発整備計画の一部改定に対応するため、中部地区（13号地）の旅客船埠頭計画を変更するとともに、内港地区（晴海ふ頭）の旅客船埠頭を廃止する。これに伴い、中部地区（13号地）の水域施設を次のとおり計画する。

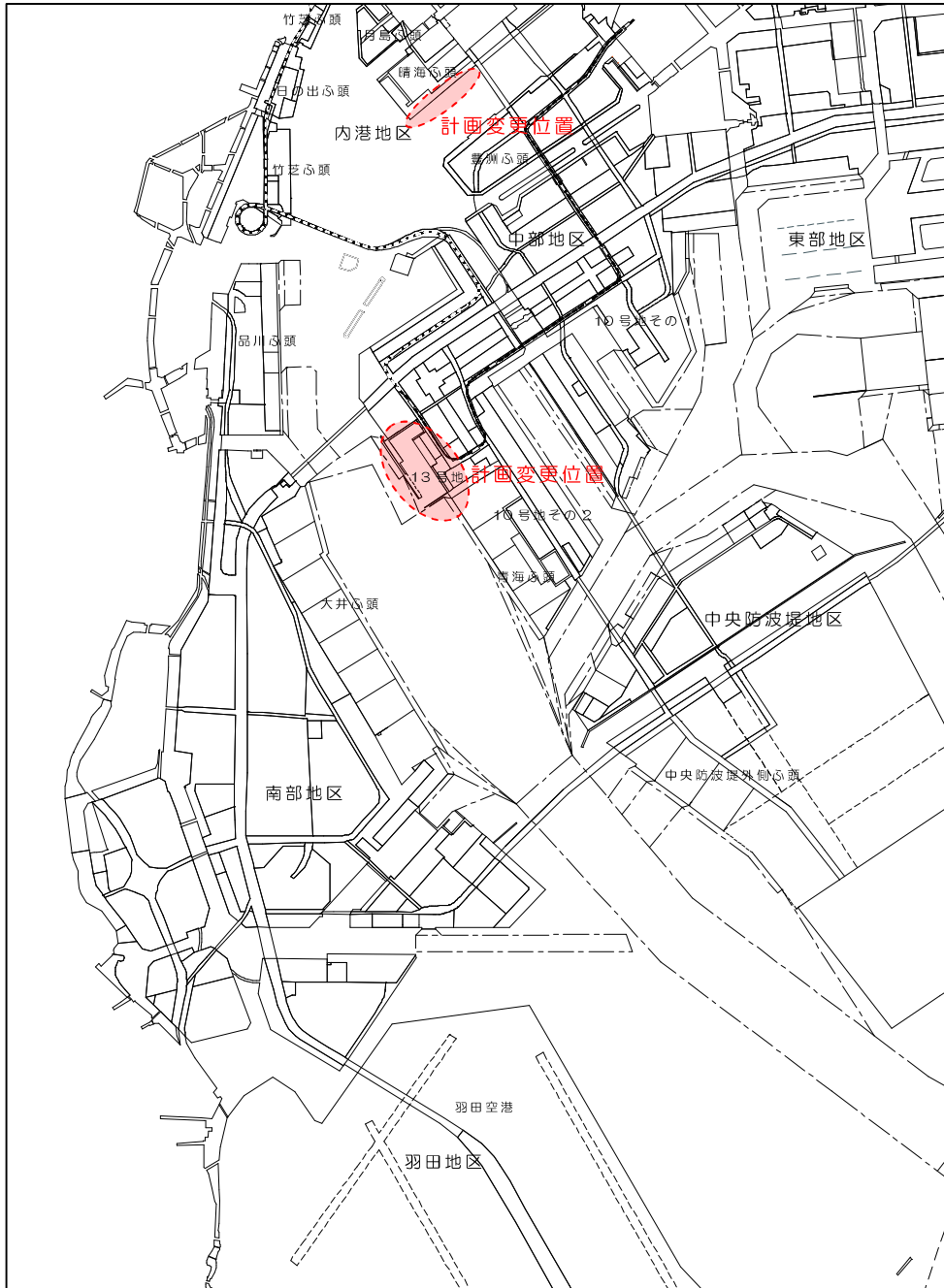


図 2-1 計画変更位置図



## 2.1 旅客船埠頭計画

船舶の大型化及びクルーズ需要の増大に対応するため、中部地区（13号地）の旅客船埠頭計画を変更する。これに伴い、内港地区（晴海ふ頭）の旅客船埠頭を廃止し、中部地区（13号地）に集約する。

表 2-1-1 対象船舶諸元

総トン数 (GT)	全長 L (m)	型幅 B (m)	満載喫水 d (m)	備考
225,282	362.0	47.0	9.3	対象船舶：世界最大の客船 オアシス・オブ・ザ・シーズ
148,528	345.0	41.0	10.3	対象船舶：日本寄港最大の客船 クイーンメリー2

※ 岸壁水深は、対象船舶のうち、満載喫水が最大となる「クイーンメリー2」に対応

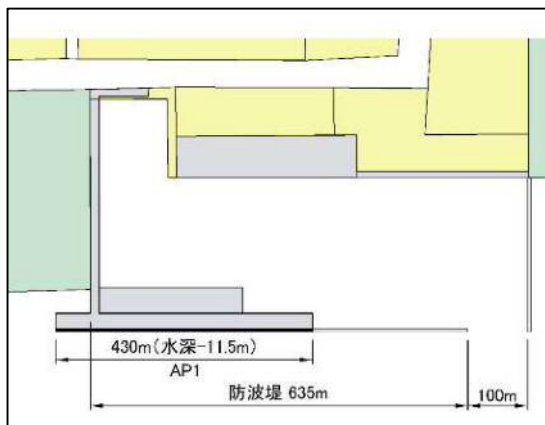
表 2-1-2 旅客船埠頭計画

地区名	埠頭名	対象船舶 (GT)	水深 (m)	既定計画		今回計画		種別
				バース数	延長 (m)	バース数	延長 (m)	
中部地区 (13号地)	新客船	230,000	11.5	1	430	2*	680	既定計画の変更計画
内港地区 (晴海ふ頭)	晴海客船	20,000	10	1	225	-	-	廃止

※ 連続バースとして使用することにより、世界最大の客船の単独係留に加え、複数の客船の組み合わせによる同時係留に対応

- (例1) 将来も多く寄港が見込まれる「マリナー・オブ・ザ・シーズ (138,279GT、全長 311.0m、型幅 39.0m)」と「ダイヤモンド・プリンセス (115,906GT、全長 290.0m、型幅 37.5m)」の同時係留
- (例2) 世界最大の「オアシス・オブ・ザ・シーズ」と日本最大の「飛鳥Ⅱ (50,142GT 全長 241.0m、型幅 30.0m)」の同時係留

【既定計画】



【今回計画】

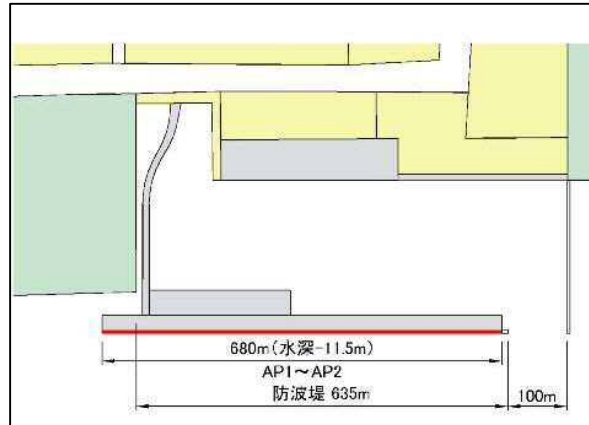


図 2-2-1 旅客船埠頭計画の既定計画図と今回計画図

## 2.2 水域施設計画

船舶の大型化に対応するため、中部地区の泊地及び航路・泊地を次のとおり計画する。

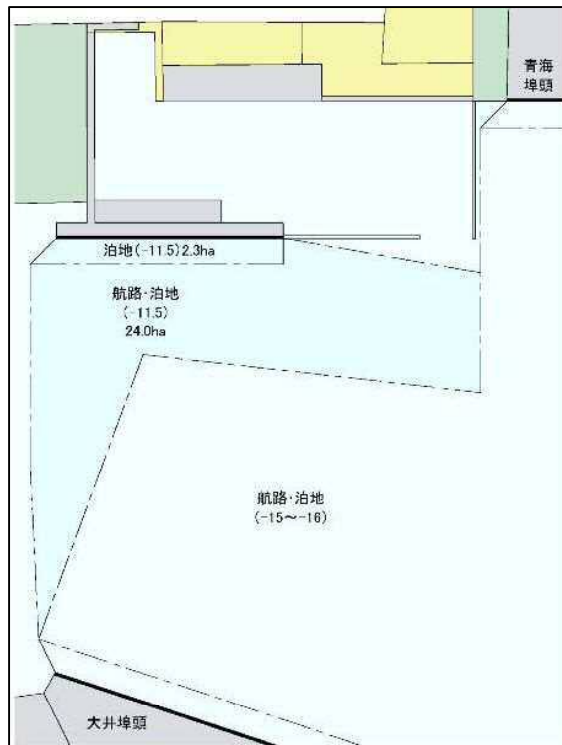
表 2-2-1 泊地計画

地区名	対象施設名	対象船舶 (GT)	既定計画		今回計画		種別
			水深 (m)	面積 (ha)	水深 (m)	面積 (ha)	
中部地区 (13号地)	新客船 (AP1~AP2)	230,000	-	-	11.5	1.3	新規計画

表 2-2-2 航路・泊地計画

地区名	対象施設名	対象船舶 (GT)	既定計画		今回計画		種別
			水深 (m)	面積 (ha)	水深 (m)	面積 (ha)	
中部地区 (13号地)	新客船 (AP1~AP2)	230,000	-	-	11.5	0.6	新規計画
			11.5	24.0	11.5	23.3	既定計画の 変更計画

【既定計画】



【今回計画】

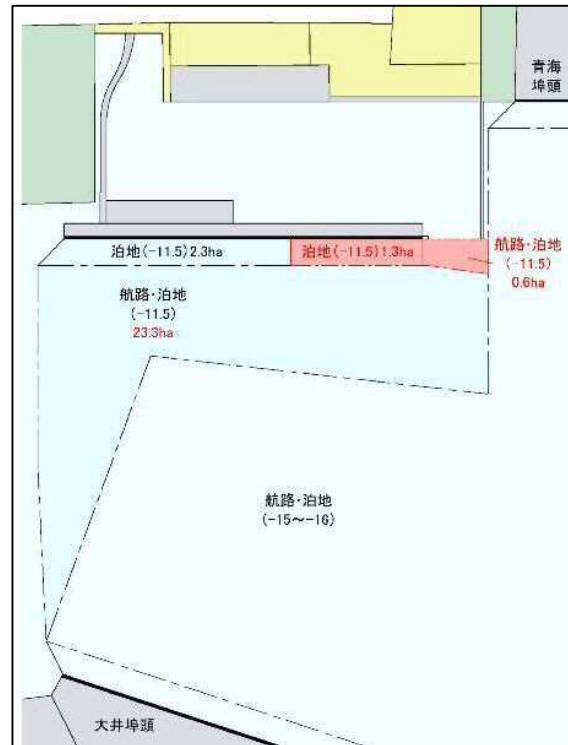


図 2-2-1 水域施設計画の既定計画図と今回計画図

### 3. 港湾環境整備施設計画に関する資料

#### 3.1 緑地の現況と計画

豊洲・晴海開発整備計画の一部改定に伴い、内港地区の緑地を次のとおり計画する。

表 3-1-1 緑地の現況と計画

地区名	位置	名称	緑地の現況		緑地計画			
			緑地面積 (ha)	状況	緑地面積 (ha)	状況	主な用途	備考
内港地区	①	竹芝	0.8	既設	0.8	既設	ターミナル緑地	
	②	日の出ふ頭公園	2.2	既定計画	2.2	既定計画	ふ頭公園	
	③	芝浦北ふ頭公園	0.5	既定計画	0.5	既定計画	ふ頭公園	
	④	芝浦南ふ頭公園	2.0	既定計画	2.0	既定計画	ふ頭公園	
	⑤	品川北ふ頭公園	0.7	既設	0.7	既設	ふ頭公園	
	⑥	晴海ふ頭公園	2.5	既設	2.5	既設	ふ頭公園	
	⑦	晴海ふ頭公園	-	-	1.1	新規計画	ふ頭公園	
	⑧	晴海	-	-	3.0	新規計画	-	
	⑨	晴海	3.0	既設	3.0	既設	親水緑地	
	⑩	晴海緑道公園	2.2	既定計画	2.2	既定計画	緑道公園	
	⑪	晴海緑道公園	-	-	1.4	新規計画	緑道公園	
	⑫	春海橋公園	2.0	既設	2.0	既設	ふ頭公園	
	⑬	春海橋公園	0.1	既定計画	0.1	既定計画	ふ頭公園	
	⑭	豊洲	14.5	既設 (工事中)	14.5	既設 (工事中)	親水緑地	
		地区計	30.5		36.0			
南部地区	⑩	みなとが丘ふ頭公園	5.0	既設	5.0	既設	ふ頭公園	
	⑪	大井ふ頭中央海浜公園	47.5	既設	47.5	既設	海浜公園	
	⑫	東海ふ頭公園	5.1	既設 (工事中)	5.1	既設 (工事中)	ふ頭公園	
	⑬	東海ふ頭公園	2.4	既定計画	2.4	既定計画	ふ頭公園	
	⑭	東京港野鳥公園	21.4	既設	21.4	既設	海浜公園	
	⑮	大井ふ頭その1・その2間	0.3	既定計画	0.3	既定計画	海浜公園	
	⑯	昭和島南緑道公園	3.9	既定計画	3.9	既定計画	緑道公園	
	⑰	京浜島ふ頭公園	1.4	既設	1.4	既設	ふ頭公園	
	⑱	京浜島つばき公園	3.5	既設	3.5	既設	ふ頭公園	
	⑲	城南島ふ頭公園	1.4	既設	1.4	既設	ふ頭公園	
⑳	城南島海浜公園	13.1	既設	13.1	既設	海浜公園		
㉑	城南島海浜公園	1.8	既定計画	1.8	既定計画	海浜公園		
		地区計	106.8		106.8			
中部地区	⑳	お台場海浜公園	10.0	既設	10.0	既設	海浜公園	
	㉑	青海中央ふ頭公園	1.7	既設	1.7	既設	ふ頭公園	
	㉒	青海南ふ頭公園	2.8	既設	2.8	既設	ふ頭公園	
	㉓	晴ふ頭公園	2.0	既設	2.0	既設	ふ頭公園	
	㉔	晴ふ頭公園	2.0	既定計画	2.0	既定計画	ふ頭公園	
	㉕	有明北緑道公園	1.2	既設	1.2	既設	緑道公園	
	㉖	有明親水海浜公園	5.2	既設	5.2	既設	海浜公園	
	㉗	有明親水海浜公園	7.1	既定計画	7.1	既定計画	海浜公園	
	㉘	有明テニスの森公園	15.8	既設	15.8	既設	緑道公園	
	㉙	フェリーふ頭公園	0.9	既設	0.9	既設	ふ頭公園	
		地区計	48.7		48.7			
東部地区	㉚	辰巳の森海浜公園	24.6	既設 (工事中)	24.6	既設 (工事中)	海浜公園	
	㉛	辰巳の森緑道公園	14.2	既設	14.2	既設	緑道公園	
	㉜	夢の島緑道公園	12.1	既設	12.1	既設	緑道公園	
	㉝	新木場公園	0.9	既設	0.9	既設	ふ頭公園	
	㉞	新木場緑道公園	5.3	既設	5.3	既設	緑道公園	
	㉟	若洲ふ頭公園	1.5	既定計画	1.5	既定計画	ふ頭公園	
	㊱	若洲海浜公園	68.5	既設	68.5	既設	海浜公園	
		地区計	127.1		127.1			
防波堤中央	㊲	海の森公園	85.7	既設 (工事中)	85.7	既設 (工事中)	海浜公園	
	㊳	中央防波堤内側ふ頭公園	1.2	既定計画	1.2	既定計画	ふ頭公園	
	㊴	中央防波堤外側及び新海面処分場	96.7	既定計画	96.7	既定計画	海浜公園・親水緑地	
		地区計	183.6		183.6			
	合計		496.7		502.2			

「海浜公園」「ふ頭公園」「緑道公園」とは、東京都海上公園条例に基づき計画・整備する緑地である。

- ・海浜公園：水域における自然環境の保全及び回復を図り、水に親しむ場所
- ・ふ頭公園：ふ頭内の環境の整備を図り、みなとの景観に親しむ場所
- ・緑道公園：臨海地域における自然環境の回復を図り、緑に親しめる場所

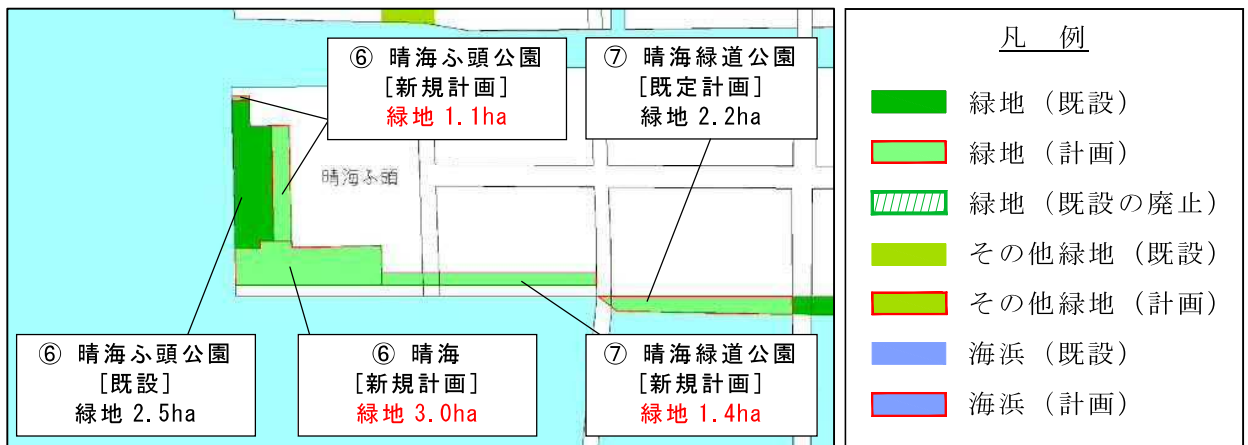
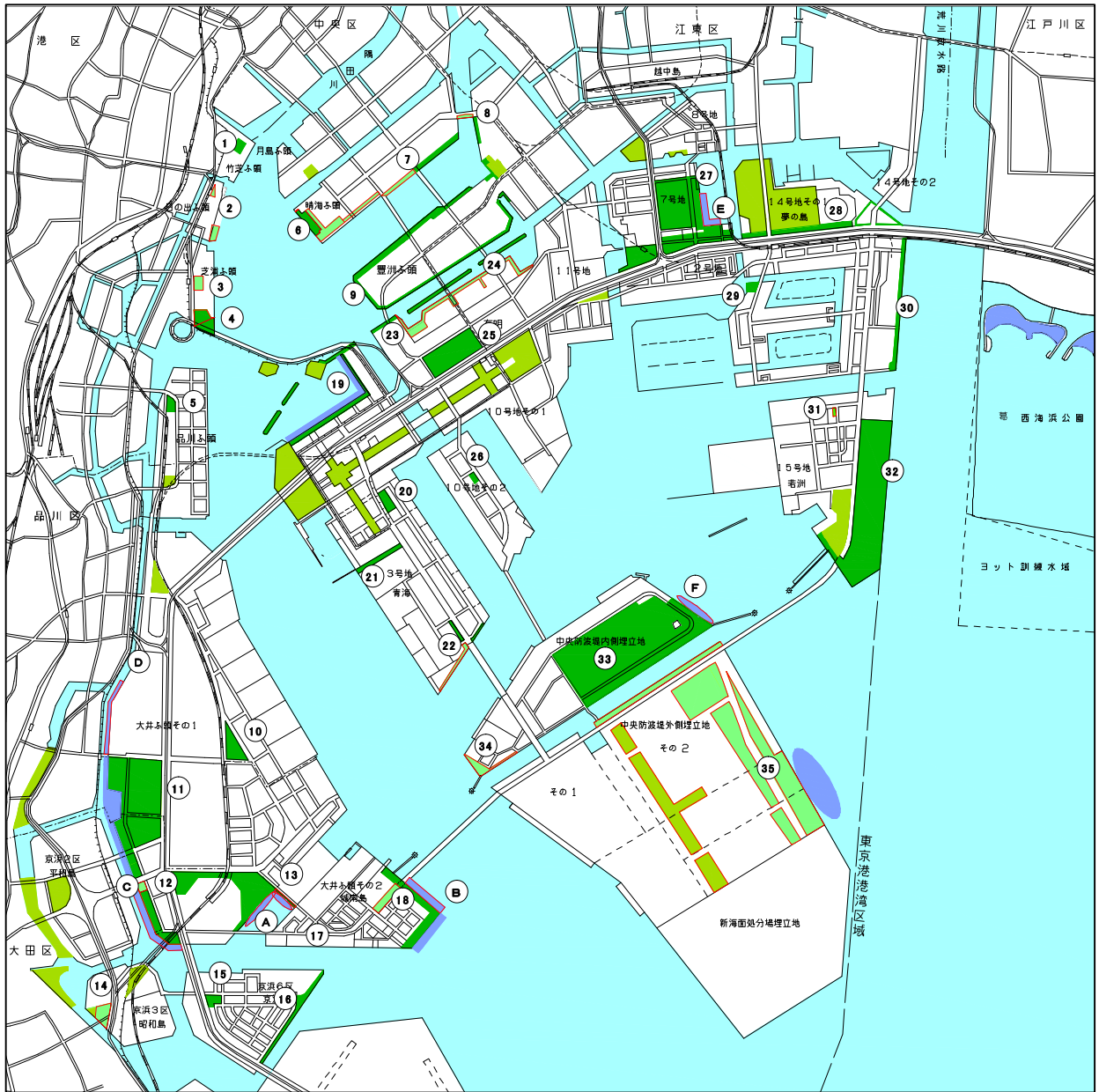


図 3-1-1 緑地・海浜計画位置図

## 4. 土地利用計画に関する資料

### 4.1 土地利用計画

船舶の大型化及び豊洲・晴海開発整備計画の一部改定に対応するため、内港地区（晴海ふ頭）及び中部地区（13号地）の土地利用を次のとおり計画する。

表 4-1-1 土地利用計画

今回計画

単位：ha

用途 地区名	埠頭 用地	港湾 関連 用地	交流 厚生 用地	工業 用地	都市 機能 用地	交通 機能 用地	緑地	廃棄物 処理施 設用地	海面 処分 用地	合計
内港地区	(53.2)	(74.6)	(11.5)	(10.6)		(4.6)	(36.0)	(3.0)		(193.5)
	53.2	74.6	11.5	10.6	152.4	28.6	40.6	3.0		374.5
中部地区	(147.2)	(93.2)	(48.1)	(29.4)		(44.4)	(48.7)			(411.0)
	147.2	93.2	48.1	29.4	193.7	136.6	113.5			761.7
合計	(200.4)	(167.8)	(59.6)	(40.0)		(49.0)	(84.7)	(3.0)		(604.5)
	200.4	167.8	59.6	40.0	346.1	165.2	154.1	3.0		1,136.2

注1：（ ）は、港湾の開発、利用及び保全並びに港湾に隣接する地域の保全に特に密接に関連する土地利用計画の内数である。

注2：端数処理のため、内訳の和は必ずしも合計とならない。

注3：内港地区は、現地測量成果に基づく面積精査等により1.3ha増とする。

既定計画

単位：ha

用途 地区名	埠頭 用地	港湾 関連 用地	交流 厚生 用地	工業 用地	都市 機能 用地	交通 機能 用地	緑地	廃棄物 処理施 設用地	海面 処分 用地	合計
内港地区	(55.7)	(74.6)	(13.2)	(10.6)		(4.6)	(30.5)	(3.0)		(192.2)
	55.7	74.6	13.2	10.6	152.4	28.6	35.1	3.0		373.2
中部地区	(146.7)	(93.2)	(47.9)	(29.4)		(44.4)	(48.7)			(410.3)
	146.7	93.2	47.9	29.4	193.7	136.6	113.5			761.0
合計	(202.4)	(167.8)	(61.1)	(40.0)		(49.0)	(79.2)	(3.0)		(602.5)
	202.4	167.8	61.1	40.0	346.1	165.2	148.6	3.0		1,134.2

注1：（ ）は、港湾の開発、利用及び保全並びに港湾に隣接する地域の保全に特に密接に関連する土地利用計画の内数である。

注2：端数処理のため、内訳の和は必ずしも合計とならない。

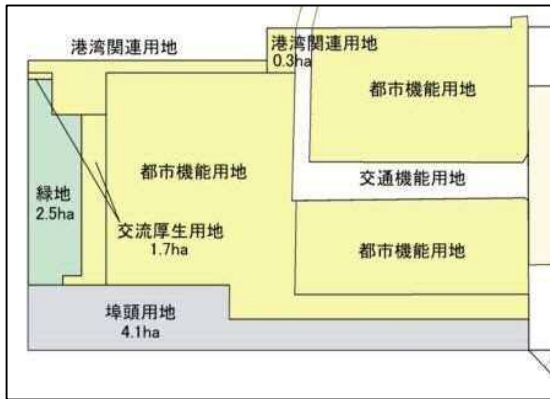
表 4-1-2 土地利用変更面積（内港地区（晴海ふ頭））

既定計画		今回計画		今回計画における面積の増減		
用途	面積 (ha)	用途	面積 (ha)	用途	減面積 (ha)	増面積 (ha)
埠頭用地	4.1	埠頭用地*	1.6	埠頭用地	2.5	-
		緑地	5.5	交流厚生用地	1.7	-
交流厚生用地	1.7			緑地	-	5.5

※ 埠頭用地は、物資補給岸壁のエプロン幅員として 20m 確保する。

※ 現地測量成果に基づく面積精査等により 1.3ha 増とする。

【既定計画】



【今回計画】

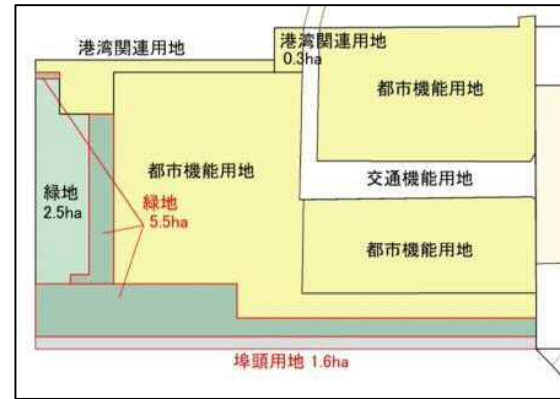


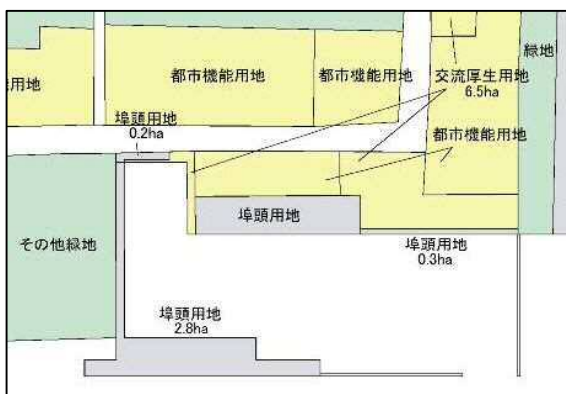
図 4-1-1 土地利用変更平面図（内港地区（晴海ふ頭））

表 4-1-3 土地利用変更面積（中部地区（13号地））

既定計画		今回計画		今回計画における面積の増減		
用途	面積 (ha)	用途	面積 (ha)	用途	減面積 (ha)	増面積 (ha)
埠頭用地	3.0	埠頭用地*	3.5	埠頭用地	0.2	0.7
		交流厚生用地	0.2	交流厚生用地	-	0.2

※ 水域の一部を埠頭用地（岸壁）として新たに 0.7ha 確保する。

【既定計画】



【今回計画】

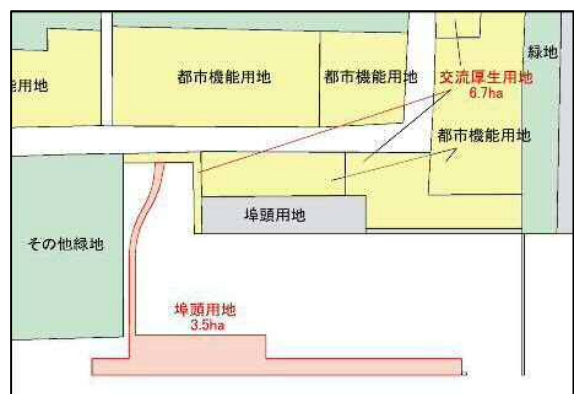


図 4-1-2 土地利用変更平面図（中部地区（13号地））

## 5. その他重要事項

### 5.1 大規模地震対策施設計画

大規模地震発生時における緊急物資輸送等に対応するため、既定計画に位置付けられている内港地区（晴海ふ頭）の大規模地震対策施設について、次のとおり計画する。

#### (1) 大規模地震対策施設の規模及び配置

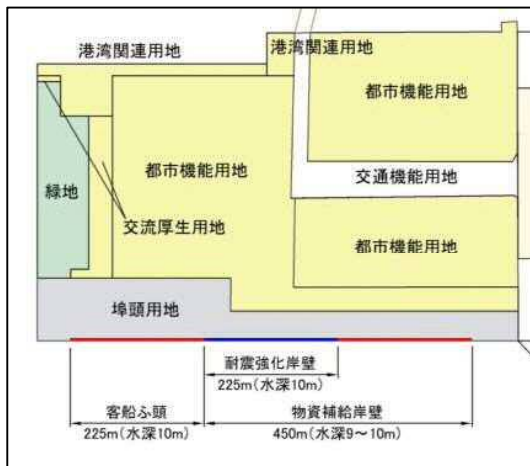
大規模地震対策施設の規模及び配置を次のとおり計画する。

表 5-1-1 大規模地震対策施設（晴海ふ頭）

地区名	埠頭名	水深 (m)	バース 数	延長 (m)		機能	種別
				既定計画	今回計画		
内港 地区	晴海	10.0	1	225	240	緊急物資等 輸送対応	既定計画の 変更計画

※ 耐震強化岸壁の規模（水深、延長）については、「臨海部防災拠点マニュアル【改訂版】（平成 28 年 3 月 国土交通省港湾局）」を参考に、物資輸送の用に供する船舶の大部分が着岸できる規模を確保する。

#### 【既定計画】



#### 【今回計画】

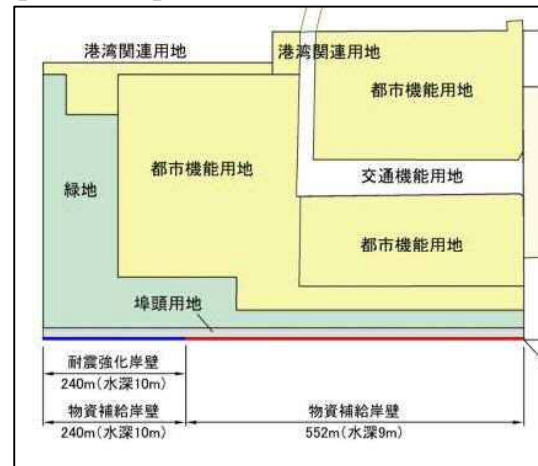


図 5-1-1 大規模地震対策施設変更平面図

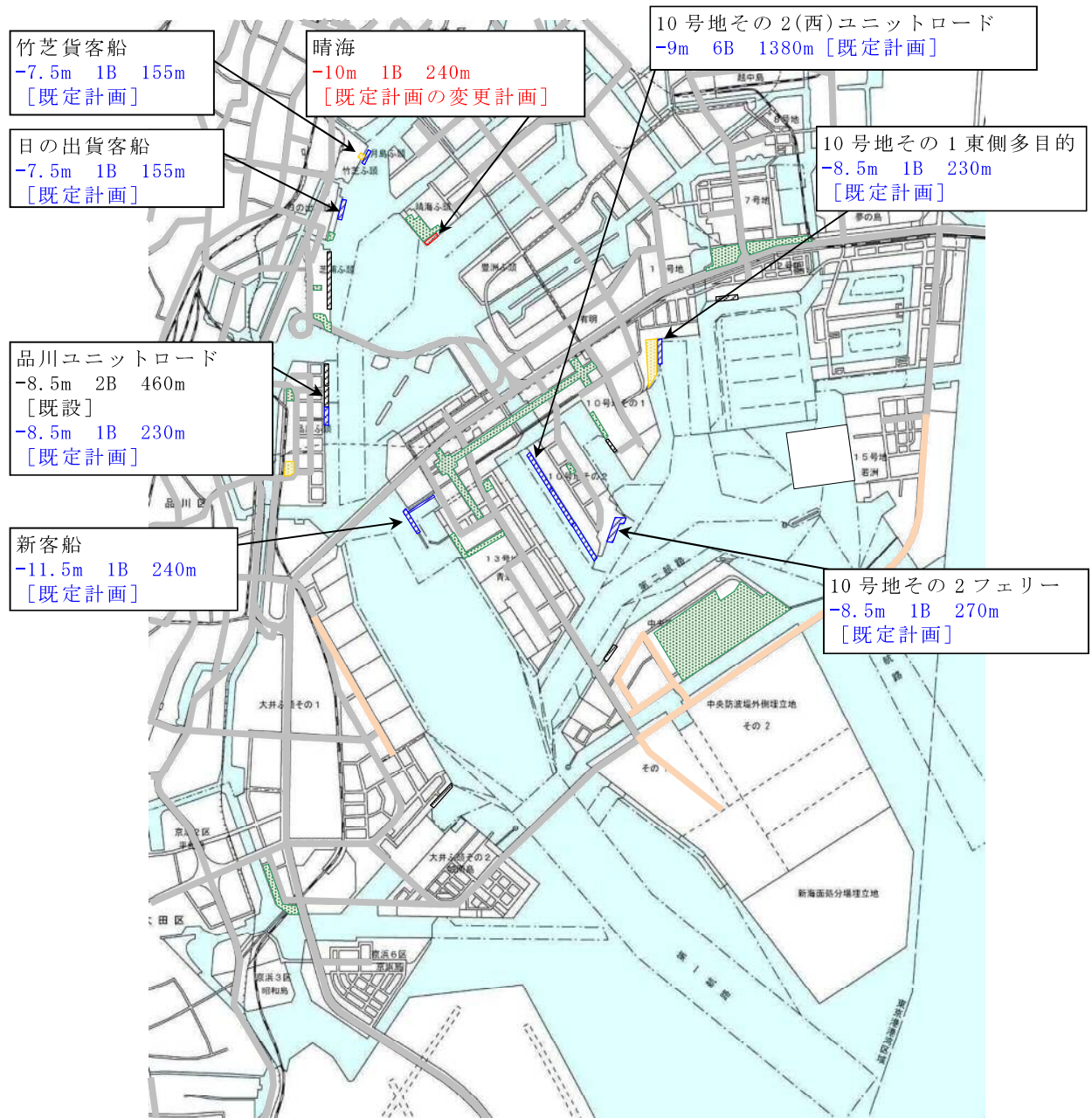
(2) 緊急物資輸送対応施設計画

緊急物資輸送対応施設を次のとおり計画する。

表 5-1-2 緊急物資輸送対応施設計画一覧

番号	種別	ふ頭名	水深 (m)	バース数	延長 (m)	10m岸壁換算 バース数	備考
1	既設	芝浦 内貿雑貨	7.5	5	650	3.8	
2	既設・既定計画	品川 ユニットロード	8.5	3	690	4.1	S1, S2 : 既設 S3 : 既定計画
3	既定計画	日の出 貨客船	7.5	1	155	0.9	
4	既定計画	竹芝 貨客船	7.5	1	155	0.9	
5	既設	大井 食品	11.0	2	380	2.2	
6	既定計画の 変更計画	晴海 物資補給	10.0	1	240	1.4	
7	既設	10号地その1 西側多目的	7.5	1	180	1.1	
8	既定計画	10号地その2 フェリー	8.5	1	270	1.6	
9-1	既定計画	10号地その2 ユニットロード	9.0	4	920	5.4	
9-2	既定計画	10号地その2 ユニットロード	9.0	2	460	2.7	
10	既定計画	10号地その1 東側多目的	8.5	1	230	1.4	
11	既定計画	新客船	11.5	1	240	1.4	
12	既設	辰巳 内貿雑貨	5.0	2	160	0.9	
13	既設	中央防波堤内側 ユニットロード	9.0	1	230	1.4	
合計			-	26	4,960	29.2	





凡 例			
	今回計画		緊急輸送道路 (既設)
	既定計画		緊急輸送道路 (予定)
	既 設		背後オープンスペース (海上公園)
			背後オープンスペース (その他)

図 5-1-2 緊急物資輸送対応施設計画

### (3) 緊急物資輸送対応施設の背後オープンスペース

耐震強化岸壁の背後には、緊急救援物資や応急復旧資機材等の保管・荷捌きや駐車場のためのオープンスペースを確保する。

災害発生時はBCP等によりオープンスペースとして直背後の上屋等の活用も期待されるが、不測の事態にも対応するため、オープンスペースとしての機能が常時担保されている平地を、海上公園を基本として確保しておく。

表 5-1-3 耐震強化岸壁整備の基本的な考え方

エリア区分	種別	ふ頭名	水深 (m)	バース数	延長 (m)	10m岸壁 換算 バース数	物資取扱量 (トン/日)	オープンスペース所用面積 (ha)			計画上対応するオープンスペース (海上公園等)		
								仕分け 一時保管 12㎡/t	駐車場 12㎡/t	合計	対象箇所	計画 決定面積 (ha)	
内港 + 南部	既設	芝浦 内貿雑貨	7.5	5	650	3.8	950	1.1	1.1	2.2	芝浦北ふ頭公園 芝浦南ふ頭公園	0.4 2.0	
	既定計画	品川 ユニットロード	8.5	3	690	4.1	1,025	1.2	1.2	2.4	品川北ふ頭公園 品川南ふ頭公園(区)	0.6 0.8	
	既定計画	日の出 貨客船	7.5	1	155	0.9	225	0.3	0.3	0.6	日の出ふ頭公園	2.2	
	既定計画	竹芝 貨客船	7.5	1	155	0.9	225	0.3	0.3	0.6	竹芝ふ頭ターミナル	1.2	
	既設	大井 食品	11.0	2	380	2.2	550	0.7	0.7	1.4	東海ふ頭公園	6.9	
	エリア合計						11.9	-	-	-	7.2	-	14.1
	豊洲・晴海	既定計画の 変更計画	晴海 物資補給	10.0	1	240	1.4	350	0.4	0.4	0.8	晴海ふ頭公園	6.6
臨海副都心	既設	10号地その1 西側多目的	7.5	1	180	1.1	275	0.3	0.3	0.6	有明西ふ頭公園	1.0	
	工事中	10号地その2 フェリー	8.5	1	270	1.6	400	0.5	0.5	1	フェリーふ頭公園	0.9	
	工事中 既定計画	10号地その2 ユニットロード	9.0	6	1,380	8.1	2,025	2.4	2.4	4.8	シンボルプロムナード	26.2	
	既定計画	10号地その1 東側多目的	8.5	1	230	1.4	350	0.4	0.4	0.8	交流厚生用地	5.3	
	既定計画	新客船	11.5	1	240	1.4	350	0.4	0.4	0.8	青海南ふ頭公園	4.7	
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	青海中央ふ頭公園	1.3
	エリア合計						13.6	-	-	-	8.0	-	39.4
東部	既設	辰巳 内貿雑貨	5.0	2	160	0.9	225	0.3	0.3	0.6	辰巳の森緑道公園	14.6	
中央防波堤	既設	中央防波堤内側 ユニットロード	9.0	1	230	1.4	350	0.4	0.4	0.8	海の森公園	85.7	

## 5.2 港湾施設の利用

### (1) 物資補給等のための施設

東京港には、独立行政法人海技教育機構（旧航海訓練所）や水産庁、防衛省をはじめ、官公庁の所有する船舶等が多数寄港・係留しており、燃料や飲料水など物資補給のための係留場所の確保が求められている。こうした要請への対応として、物資補給岸壁を次のとおり計画する。

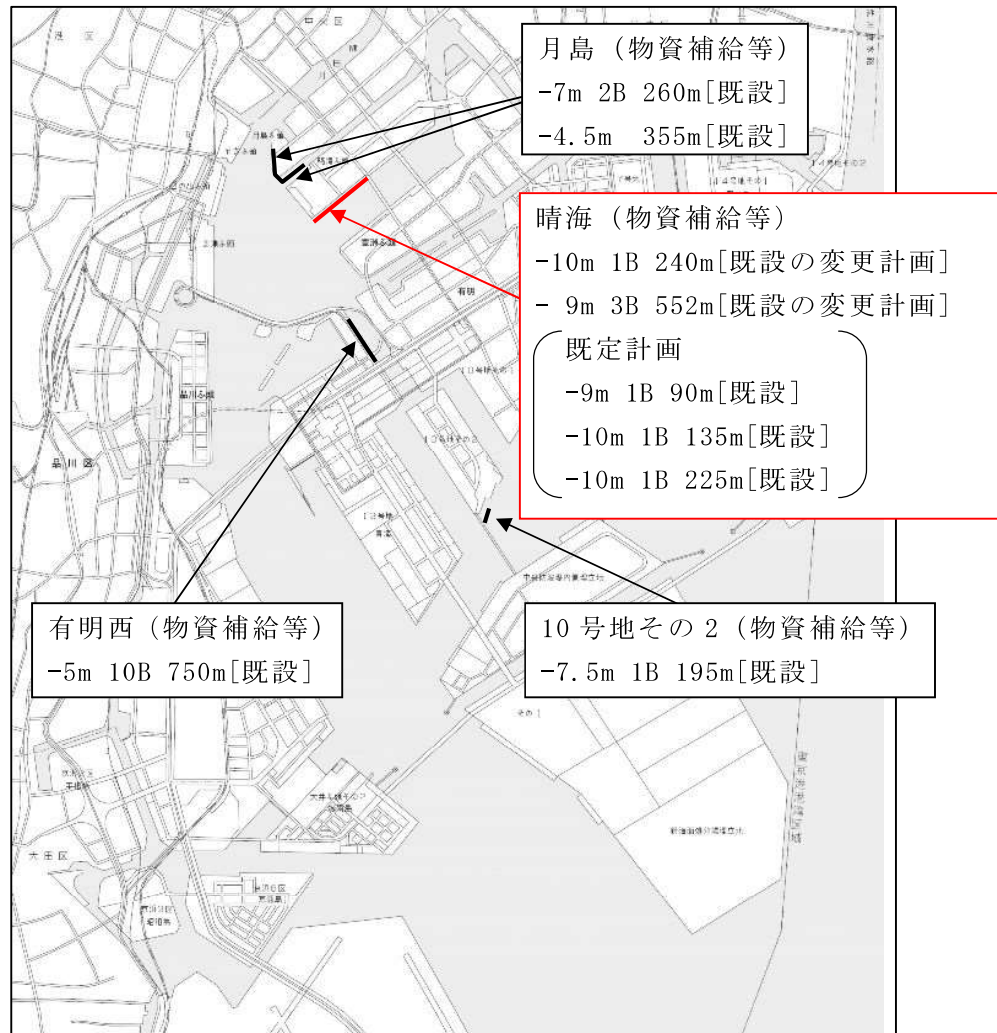


図 5-2-1 物資補給のための施設

## 6. 環境保全に関する資料

### 6.1 環境影響の評価

#### (1) 基本方針

今回の軽易な変更（以下「今回計画」という。）が周辺環境に与える影響は、平成 26 年に策定した東京港第 8 次改訂港湾計画（以下「既定計画」という。）による環境影響と、今回計画による環境影響を比較することにより評価する。

#### (2) 予測及び評価の考え方

今回計画は、旅客船埠頭計画を内港地区（晴海ふ頭）から中部地区（13 号地）に集約するものであり、バース数は変更しない。

また、中部地区（13 号地）の埠頭用地は栈橋構造であり、公有水面の埋立ては伴わない。

一方、旅客船の係留場所の変更に伴って、旅客船からの排出ガス（二酸化窒素、二酸化硫黄及び浮遊粒子状物質）による大気質への影響の程度が既定計画と比べて変化する可能性がある。

このような今回計画の特性を踏まえ、既定計画と同様に、下記の環境影響の程度について予測・評価することとした。

- ・ 大気環境・・・・・・・・大気質、騒音、振動、悪臭
- ・ 水環境・・・・・・・・潮流、水質、底質
- ・ 土壌環境・・・・・・・・地形
- ・ 生物環境・・・・・・・・動物、植物、生態系
- ・ 自然との触れ合い・・・景観、人と自然との触れ合い活動の場
- ・ その他・・・・・・・・漁業、文化財

## 6.2 大気環境（大気質）への影響予測と評価

予測項目は、二酸化窒素（NO<sub>2</sub>）、二酸化硫黄（SO<sub>2</sub>）及び浮遊粒子状物質（SPM）とし、船舶以外の排出量は既定計画と同様とした。

今回計画における船舶からの大気汚染物質排出量を推計したのち、大気拡散シミュレーションを行い、既定計画との比較を行った。

なお、予測モデルは既定計画と同様とし、予測範囲は東京港港湾区域を包含する東西約 25km×南北約 30km、計算格子間隔は 1km である。

### (1) 船舶隻数

今回計画における、旅客船の入港船舶隻数を次のとおり設定した。今回計画は既定計画に対して、係留位置の変更に伴い地区は変更するが、各船型における船舶隻数及び乗客数は変更しない計画としている。

表 6-2-1 旅客船埠頭の入港船舶隻数

地区名	船型 (GT)	既定計画		今回計画	
		内航 (隻)	外航 (隻)	内航 (隻)	外航 (隻)
内港地区 (晴海ふ頭)	20,000～29,999	56	23		
	30,000～39,999		20		
	50,000～59,999	15			
	60,000～69,999		25		
	小計	71	68	0	0
中部地区 (13号地)	20,000～29,999			56	23
	30,000～39,999				20
	50,000～59,999			15	
	60,000～69,999				25
	110,000～119,999		20		20
	137,276		25		25
	154,407		25		25
	220,000		4		4
	小計	0	74	71	142
合計		71	142	71	142

(2) 排出係数等

船舶排出ガスの排出係数等については、「船舶による汚染の防止のための国際条約」(MARPOL73/78)及び「海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律」に基づいて規定されており、これらを考慮して、将来(平成30年代後半)の排出係数等は、既定計画と同様に次のとおり設定した。

表 6-2-2 船舶の排出係数等

項目：窒素酸化物 (NO<sub>x</sub>)

規制段階	係数比 (a)	将来(平成30年代後半)					
		外航船			内航船		
		対応する 船齢	構成割合 (%) (b)	係数 ((a)×(b))	対応する 船齢	構成割合 (%) (b)	係数 ((a)×(b))
未規制	1.30	25年～	16	0.208	20年～	26	0.338
一次規制	1.00	15～25年	26	0.260	15～20年	16	0.160
二次規制	0.82	0～15年	58	0.476	0～15年	58	0.476
—		重み付け係数		0.944	重み付け係数		0.974

項目：二酸化硫黄 (SO<sub>2</sub>)、浮遊粒子状物質 (SPM)

項目	将来(平成30年代後半)	
	外航船	内航船
二酸化硫黄	燃料油中の硫黄分をA重油0.5%、C重油0.5%として、排出係数を設定した。	燃料油中の硫黄分をA重油0.5%、C重油0.5%として、排出係数を設定した。
浮遊粒子状物質		

※ 係数比は一次規制の排出量を1とした時の比を示す

※ 「平成19年度船舶起源の粒子状物質(PM)の環境影響に関する調査研究報告書」(平成20年6月、海洋政策研究財団)を基に設定

(3) 大気汚染物質排出量算定結果

旅客船からの大気汚染物質排出量の算定結果は次のとおりである。

船舶隻数の変化はないが、内港地区から中部地区への係留位置の変更に伴い、一部船舶の航行距離が短くなるため排出量は減少する。

表 6-2-3 旅客船からの大気汚染物質排出量算定結果

(単位：t/年)

項目	地区	窒素酸化物 (NO <sub>x</sub> )	二酸化硫黄 (SO <sub>2</sub> )	浮遊粒子状 物質 (SPM)
既定計画	内港地区 (晴海ふ頭)	99.4	19.1	2.9
	中部地区 (13号地)	113.1	20.7	3.1
	計	212.5	39.8	6.0
今回計画	中部地区 (13号地)	199.9	37.6	5.6
今回計画ー既定計画		-12.6	-2.2	-0.4

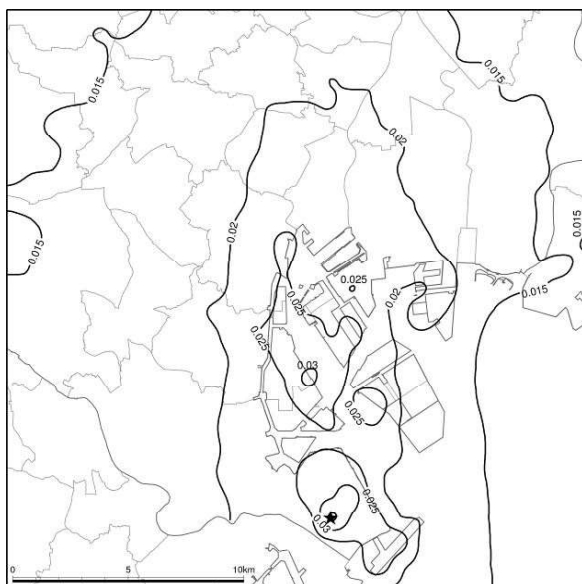
表 6-2-4 既定計画における東京都内の大気汚染物質排出量 (参考)

(単位：t/年)

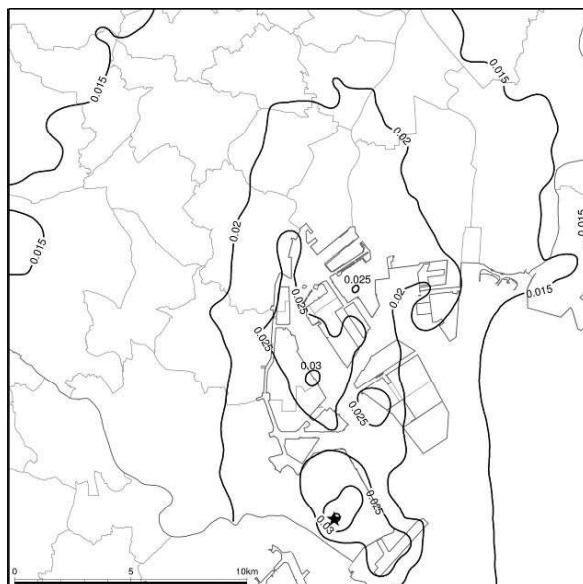
発生源 (東京都)	窒素酸化物 (NO <sub>x</sub> )	二酸化硫黄 (SO <sub>2</sub> )	浮遊粒子状 物質 (SPM)
工場	4,835	1,607	146
自動車	5,030	21	12
船舶	4,821	933	166
航空機	4,964	41	280
民生	2,161	33	76
合計	21,811	2,635	680

(4) 大気質予測結果図

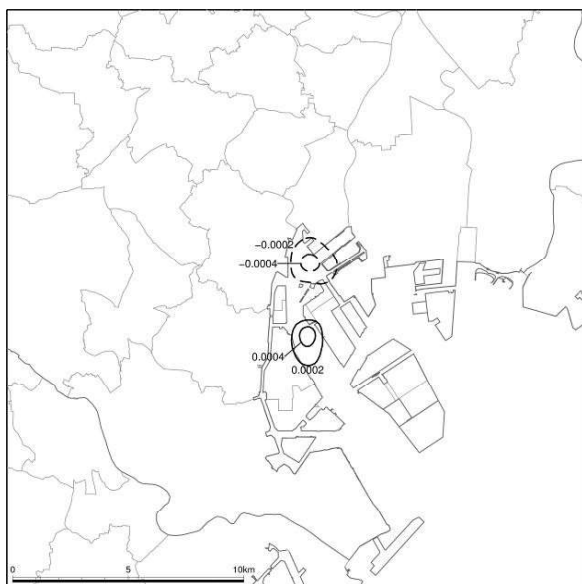
今回計画と既定計画における二酸化窒素、二酸化硫黄及び浮遊粒子状物質の予測結果及びそれぞれの差異（今回計画－既定計画）は次のとおりである。



今回計画



既定計画



今回計画－既定計画

単位：ppm

★：最大着地濃度地点

図 6-2-1 二酸化窒素の年平均濃度分布図





今回計画



既定計画



今回計画－既定計画

単位：ppm

★：最大着地濃度地点

図 6-2-2 二酸化硫黄の年平均濃度分布図



今回計画



既定計画



今回計画－既定計画

単位：mg/m<sup>3</sup>

★：最大着地濃度地点

図 6-2-3 浮遊粒子状物質の年平均濃度分布図

(5) 大気質への評価

陸上の最大着地濃度地点における予測結果は、次のとおりである。

今回計画における二酸化窒素の日平均値の年間 98%値は 0.0594ppm であり、環境基準を下回っていると同時に、計画の変更による年平均値及び日平均値の増加はみられない。

今回計画における二酸化硫黄の日平均値の 2%除外値は 0.0113ppm であり、環境基準を下回っていると同時に、計画の変更による年平均値及び日平均値の増加はみられない。

今回計画における浮遊粒子状物質の日平均値の 2%除外値は 0.0613mg/m<sup>3</sup> であり、環境基準を下回っていると同時に、計画の変更による年平均値及び日平均値の増加はみられない。

以上より、今回計画が大気質に与える影響は軽微であると考えられる。

表 6-1-9 最大着地濃度地点（陸上）における予測結果

		二酸化窒素 (ppm)	二酸化硫黄 (ppm)	浮遊粒子状物質 (mg/m <sup>3</sup> )
今回計画	年平均値	0.0361	0.0052	0.0273
	日平均値の 年間 98% 値	0.0594	-	-
	日平均値の 2%除外値	-	0.0113	0.0613
既定計画	年平均値	0.0361	0.0052	0.0273
	日平均値の 年間 98% 値	0.0594	-	-
	日平均値の 2%除外値	-	0.0113	0.0613
今回計画 -既定計画	年平均値	0.0000	0.0000	0.0000
	日平均値の 年間 98% 値	0.0000	-	-
	日平均値の 2%除外値	-	0.0000	0.0000
環境基準		0.06	0.04	0.10

### 6.3 その他の項目への影響予測と評価

#### (1) 大気環境（騒音、振動、悪臭）

今回計画に伴い増加する発生集中交通量は、東京港及び周辺の交通量を大きく変化させるものではないと予測されることから、道路交通騒音・振動への影響は軽微であると考えられる。

また、今回計画では、新たに悪臭を発生させるような施設の立地は想定していないことから、悪臭による影響はない。

#### (2) 水環境（潮流、水質、底質）、土壌環境（地形）、生物環境（動物、植物、生態系）

今回計画は港内の潮流を阻害するものではなく、潮流について、現況を大きく変えるものではない。このため、潮流、水質、底質、周辺地形及び海生生物・生態系への影響は軽微であると考えられる。

#### (3) 自然との触れ合い（景観、人と自然との触れ合い活動の場）

今回計画は、周囲の公園と一体化を図り修景を行うとともに、海を眺める親水空間を創出していくものである。このため、景観、人と自然との触れ合い活動の場へ与える影響は、ほとんどないものと考えられる。

#### (4) その他（漁業、文化財）

今回計画が海生生物・生態系に与える影響は小さいと予測されることから、漁業に与える影響は軽微であると考えられる。

また、今回計画の周辺地区には、第三台場、第六台場があるが、直接改変するものではなく、これらを眺望する視点場を消滅、減少するものでもない。このため、歴史的・文化的環境へ与える影響は、ほとんどないものと考えられる。

### 6.4 総合評価

今回計画に伴う東京港周辺の環境に与える影響について予測・評価を行った結果、いずれの項目も影響は軽微、又は、ほとんどないものと考えられる。

なお、計画の実施にあたっては、環境保全について十分に配慮するとともに、工法・工期等について十分に検討し、十分な監視体制のもとに、環境に与える影響をより少なくするように慎重に行うものとする。

## 7. その他資料

### 7.1 新旧法線対象図

旅客船埠頭計画に対応するため、次のとおり法線計画を変更する。

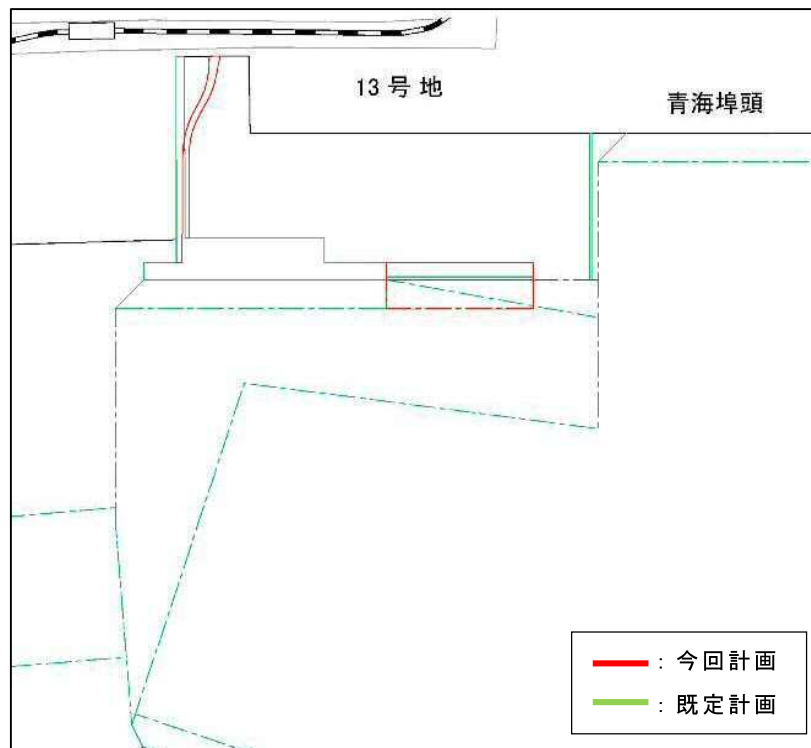


図 7-1-1 新旧法線対照図（中部地区（13号地））

## 8. 東京都港湾審議会委員名簿

分野	役職等	氏名
学識経験を有する者	日本郵船株式会社 特別顧問	草刈 隆郎
	一般財団法人みなと総合研究財団 理事長	鬼頭 平三
	日本機械輸出組合 理事兼部会・貿易業務グループ グループリーダー	橋本 弘二
	流通経済大学流通情報学部 教授	苦瀬 博仁
	日本大学理工学部まちづくり工学科 准教授	押田 佳子 ☆
	東京農業大学地域環境科学部造園科学科 准教授	水庭 千鶴子 ☆
	首都大学東京都市教養学部 教授	松田 千恵子
	ジャーナリスト・環境カウンセラー	崎田 裕子
	敬愛大学経済学部 教授	根本 敏則
	一般財団法人沿岸技術研究センター 理事長	高橋 重雄
港湾・海上公園利用者	一般社団法人東京港運協会 会長	鶴岡 純一
	東京倉庫協会 会長	宮本 憲史 ☆
	一般社団法人日本船主協会 常務理事	石川 尚
	公益社団法人東京湾海難防止協会 特別参与	西本 哲明 ☆
	東京港湾労働組合連合会 執行委員長	山田 敏也
	全日本海員組合 関東地方支部 支部長	大山 浩邦
	一般社団法人東京都レクリエーション協会 理事	澤内 隆 ☆
	都民公募	栗山 由美 ☆
都民公募	田中 一哉 ☆	
港湾区域に隣接する特別区の区長	中央区長	矢田 美英
	港区長	武井 雅昭
	江東区長	山崎 孝明
	品川区長	濱野 健
	大田区長	松原 忠義
	江戸川区長	多田 正見
東京都議員	東京都議会議員	山崎 一輝
	東京都議会議員	田中 たけし
	東京都議会議員	鈴木 あきまさ
	東京都議会議員	宇田川 聡史 ☆
	東京都議会議員	伊藤 こういち ☆
	東京都議会議員	畔上 三和子 ☆
	東京都議会議員	中山 ひろゆき ☆
関係行政機関の職員	東京税関長	大森 通伸 ☆
	関東地方整備局長	大西 亘 ☆
	関東運輸局長	持永 秀毅 ☆
	東京海上保安部長	豊藏 俊雄 ☆
	警視庁交通部長	山本 仁 ☆

☆ 印は、新任委員（16名）

計 37 名







東京都港湾審議会答申（封筒綴じ込み）





